

事業所理念	子どもの視点に立ち、「子どもの最善の利益」を第一に考え、次代を担う子どもが人間として心豊かに逞しく生きる力を身につけ、また、子どもを育成する父母や祖父母その他の保護者への家族支援を行う。
支援方針	大切な乳幼児期に子ども一人ひとりの発達に応じた、専門的で丁寧な療育を行うことで、個々の発達の力を育み、心身共に豊かな成長・発達を支援していきます。
営業時間	8時30分～17時30分
活動時間	午前は9時30分～11時30分、午後は13時30分～15時30分 (送迎は行っていません)
主な行事	親子遠足、夏祭りごっこ、お店屋さんごっこ、みかん狩り体験、もちつき会、クリスマス会。いちご狩り体験、保護者懇談会



運動・感覚

・自分の意思、意欲を尊重してもらいながら、五感をしっかり使って、周りの状況をとらえる力を養い、様々な身体感覚、感触に触れ、感覚の成長と統合する力の向上を支援します。



認知・行動

・周りの状況をしっかりとらえて、一緒に考えて判断できる力と、適切な認知と適切な行動の習得への支援をします。



人間関係・社会性

・イメージの世界を楽しむ遊びを通して目には見えないものを想像する力と、現実世界とイメージの世界とを繋ぎ合わせる力を支援します。
・愛着のある人から学びとる力を養い、他者への関心と集団への参加を支援します。



健康・生活

内部の感覚に気づかせた睡眠、食事、排泄を身につけ、健康状態の維持や改善、基本的な生活スキルの習得、生活リズムの形成の支援の方法を考え、自立に繋がる力を養えるように支援します。

言語・コミュニケーション

自分自身の思いをわかってもらっている安心感と、愛着のある人からの模倣を通して学びを増やし、物事を理解した言葉の表出と活用を支援します。

★家族支援★

・親子通所の利点を活かし、子どもの思いに共感した関わり方に繋がるように支援していきます。

★移行支援★

・集団生活や就学への移行の際、情報共有や連携を行っていきます。

★地域支援・地域連携★

・同年代と関わる機会や、市町村や関係機関と連携及び協力を図っていきます。

◎職員の質の向上に資する取り組みとして、活動後、毎回心理専門員を交えた振り返りの時間を設けることで、職員一人一人が子どもの心と身体の発達を意識した支援に繋がるように取り組んでいます。